

夏休みにおじいちゃんの家に行ったソノイ一は、小さな畑をもらいました。野菜の育て方を教えてもらいながら、ソノイ一は畑仕事をがんばります。野菜って種をまくだけで育たないんだね。あなたも、夏休みに野菜を育ててみませんか。

ソノイ一の『やさしいだけ』
ゲルダ・ミューラー//作
ふしみ みさを//訳
BL出版



『夏の虫 夏の花』
奥本 大三郎//文
たかはし きよし//絵
福音館書店



『こおり』
前野 紀一//文
斉藤 俊行//絵
福音館書店

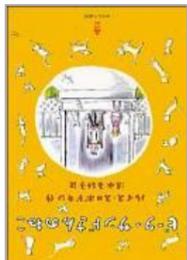
水中メガネとスノーケルで海の中をのぞいてみよう。海の生きものは、ふしきがいっぱいだ！

『海のなかのそいた』
よしの ゆうすけ//さく
福音館書店

『はじめて見たよ！』
新聞 孝//写真・文
少年写真新聞社

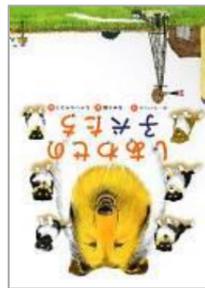


『ピーター・サンパッドさんのねこ』
ルイス・スロポキン//作
清水 眞砂子//訳
あすなろ書房



ホテル島の別荘に来た人たちは、夏の間だけ飼うネコをピーター・サンパッドさんに借りにきます。ところが、たかさんのネコを飼っているピーター・サンパッドさんが入院してしまいました。ネコ達は一体どうなるのでしょうか。

『ありのワイルド』
オンドジエト・セコラ//作・絵
(シリーズあり)
関沢 明子//訳
福音館書店



『しあわせの子犬たち』
メアリー・ロバット//作
むかい ながまさ//絵
福音館書店



夏にはいろいろな昆虫が見つけられますね。太郎は夏至(げし)の日にコクワガタを3匹つかまえました。クワガタ・クワガタ・クワガタの3兄弟です。つかまえるだけでなく、クワガタを大事に育てた太郎の昆虫日記。クワガタって何年生きるのかな？

ポールのお父さんは昆虫学者のフーブルです。お父さんと一緒に、様々な昆虫を観察した様子が、ポールの目線で語られています。

『フーブルの夏ものかたり』
マーガレット・J・アンダーソン//作
マリー・ル・グラゾン・キース//絵
福音館書店

(キリトリ線) 点線に沿って二つに折り、切り込みを入れてから線の位置で折りたたむと小さい冊子になります

～テーマ別ブックリスト～
夏
【3・4年生】

『夏がきた』
羽尻 利門//作
あすなろ書房

『やまばあさん海へ行く』
(シリーズあり)
富安 陽子//作
大島 妙子//絵
理論社

296才のやまばあさんは、150年前にはじめて海に行っただって。海って、なんて気持ちいいでしょう。やまばあさんは海でも大かつやくしますよ。

豊岡市立図書館

『よあけ』
ユリー・シュルヴィッツ//作・画
瀬田 貞二//訳
福音館書店

『海べのあさ』
ロバート・マックロスキー//文・絵
石井 桃子//訳
岩波書店

ある朝、歯がぬけそうなことに気が付いたサリーは、そのことが気になってしかたありません。海べにくらす家族の日常を、こどもたちの成長や周りの人たちとの関わりとともに、やさしくえがいたおはなしです。

読んだ本の☆をぬってみよう！
いくつぬれたかな？ コ

2022.7 発行

『霧のむこうのふしぎな町』
柏葉 幸子//著 竹川 功三郎//絵 講談社

夏休みに、リナは初めて一人旅をして、霧の谷に行くことになりました。電車を乗りついでついた町の神社の鳥居のわき道を登って、ようやく着いた霧の谷は、山奥なのに外国のような赤やクリーム色の家が6軒並ぶ不思議なところで…。

『黒ねこサンゴロウ』
竹下 文子//作
鈴木 まもる//絵
偕成社 (シリーズあり)

ケンはお父さんに会いに行くため、1人で特急に乗りました。そこで出会ったのが黒ねこのサンゴロウ。サンゴロウの旅の目的は…。サンゴロウの旅は始まったばかり。海の向こうへとまだまだ続いていくのです。

『魔女がいっぱい』
ロアルド・ダール//著
評論社

『身がわり王子と大どろぼう』
シド・フライシュマン//作
ピーター・シス//絵
偕成社

あくたれ王子が悪さをしても、お仕置きを受けるのは身がわりの少年ジェミーです。自分の代わりにムチに打たれているジェミーを見ても、王子は何とも思わないのです。ある晩、お城を抜け出した2人は、大どろぼうにつかまってしまいます。2人はどうやってピンチを切り抜けるのでしょうか。